

総務文教常任委員会審査概要報告書

委員長 林 貴文

- I 開催年月日 令和 3 年 9 月 13 日 (月)
- II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 22 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎林 貴文 ○山口 泰祐 石須 大雄
高岡 宏和 横田 誠二 吉田 健太郎
福井 直樹 大井 正樹 畠 起也
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [説明員] 別紙名簿のとおり
- [委員外議員] なし
- [事務局職員] 西本 幸夫 池守 凡子 吉本 昌史
- [傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 104 号 令和 3 年度高岡市一般会計補正予算 (第 5 号) のうち本委員会所管分
- 議案第 107 号 高岡市個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 議案第 108 号 高岡市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 113 号 高岡市立学校設置条例及び高岡市公民館条例の一部を改正する条例及び
- 議案第 114 号 高岡市生涯学習センター条例の一部を改正する条例

以上、予算議案 1 件及び条例議案 4 件の計 5 件について、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第 104 号のうち、市民協働型地域交通システム推進事業費について】

- 実証運行の実施時期と期間は。

△ 現在、複数の地域と実証運行についての詳細を協議しているところである。地域の方々へは、冬場あるいは春先の期間を念頭に置いて取り組むよう提案したいと考えている。

○ システムの導入促進に努める中で、実証運行を通じて課題が見つかった場合には、事業継続のための地域支援が必要と考えるが、見解は。

△ 利用者ニーズの的確な把握や運行方法等の工夫によって乗車密度を確保することができれば、一定程度、持続可能性は担保できるものと考えている。今後、1便あたりの乗車人数を確保しながら地域のニーズにも即した持続可能な運営方法について、地域の方々にも課題として認識していただきながら、ともに議論を進めていく必要があると考えている。

○ 乗車密度が維持されるよう、人的な支援にも対応するなど、本格導入や継続運行につながる支援をしてほしい。(要望)

2 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔教育委員会〕

(1) 「令和3年度全国学力・学習状況調査」について

(2) 令和4年高岡市新成人の集いの開催及び成年年齢の引き下げを踏まえた式典の対応について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

総務文教常任委員会 当局説明員（15名）

| | | | |
|----------------------------|--------|-------------------------------------|-------|
| 市長政策部長 市長政策部政策監 | 鶴谷 俊幸 | 教育長 | 近藤 智久 |
| 市長政策部次長 都市経営課長・広域連携推進室長 | 久郷 聡 | 教育次長 参事 | 杉森 芳昭 |
| 情報政策課長 | 布橋 みちる | 教育次長 学校教育課長・教育改革推進室長 | 杉山 智充 |
| 文化創造課長 | 寺井 知恵 | 教育総務課長 | 中保 哲憲 |
| 総合交通課長 | 今方 順哉 | 生涯学習・スポーツ課長 東京オリンピック・パラリンピック推進室長 | 上田 浩樹 |
| | | | |
| 総務部長 選挙管理委員会事務局長 | 梅崎 幸弘 | | |
| 総務部理事 次長 | 戸田 龍太郎 | | |
| 総務部次長 参事 | 長久 洋樹 | | |
| 総務課長 | 長谷川 聡 | | |
| 財政課長 | 村上 彰 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |